

事業所名

こども発達支援あるきっず

## 放課後等デイサービス支援プログラム

作成日

令和8 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		みんなで一歩ずつ。共に育ち、自分らしく輝く未来へ							
支援方針		応用行動分析（ABA）による行動の背景理解と、TEACCHの構造化支援に基づき、「わかる環境づくり」と成功体験の積み重ねを重視した支援を行います。また、運動療育・感覚統合・原始反射統合の視点を取り入れ、身体の土台から発達を支えます。							
営業時間		平日 学校休業日	14 時 9	30 分 30	17 時 17	30 分 00	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の活動内容や手順をスケジュールや視覚的提示し、見通しを持って自分で行動できるような環境を構造化します。</li> <li>・身辺自立、持ち物管理、時間管理等の生活スキルをスモールステップで支援し、できた行動を強化しながら定着を図ります。</li> <li>・運動活動や感覚調整活動を通して姿勢の安定や体力の向上を図り、学校生活や日常生活への適応につなげます。</li> </ul>							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランス運動や全身運動を通して体幹や協調運動を育て、心身のコントロール力を高めます。</li> <li>・前庭覚や固有覚等への適切な感覚入力を行い、自己調整力や集中力の向上を図ります。</li> <li>・感覚特性に応じて環境刺激を調整し、落ち着いて活動や学習に取り組める状態を整えます。</li> </ul>							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の見通しを明確にし、自己管理能力の向上を支援します。</li> <li>・行動の目的やルールを理解できるよう視覚支援を活用します。</li> <li>・行動の背景要因を分析し、困り行動の予防と代替行動の習得を図ります。</li> </ul>							
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚支援や文字情報を活用し、状況理解と自己表現力を支援します。</li> <li>・他者とのやり取りの中で、伝え方、聞き方、断り方等の実践的コミュニケーションを学びます。</li> <li>・集団活動や話し合いの場面を通して、社会的コミュニケーション能力の向上を図ります。</li> </ul>							
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動の中でルール理解、役割行動、協力行動等を具体的な目標として示し、成功体験を重ねながら社会性を育てます。</li> <li>・ルールや活動の流れを視覚的に提示し、不安を軽減しながら自立的な集団参加を促します。</li> <li>・トラブル時は行動の振り返りを行い、適切な対処行動を学ぶ機会をつくります。</li> </ul>							
家族支援		保護者様からの相談に応じ、家庭での関わり方や環境調整について助言を行い、心理的負担の軽減を図ります。また、活動の様子や成長の姿を共有し、学校や関係機関との連携、将来を見据えた情報提供を行いながら、家庭生活の安定につながる支援を行います。			移行支援		進級・進学や将来の生活を見据え、お子様の特性や支援内容について学校や関係機関と情報共有を行い、環境変化に適応できるように支援します。また、進路や福祉サービスに関する情報提供を行い、次のライフステージへ円滑につながる支援を行います。		
地域支援・地域連携		学校や関係機関、相談支援専門員等と連携し、学齢期の発達課題や生活状況の共有を行いながら継続的な支援体制を整えます。また、地域資源や福祉サービスに関する情報提供を行い、将来の地域生活見据えた支援につなげます。			職員の質の向上		定期的な研修や事例検討を行い、発達特性への理解と支援技術の向上に努めます。また、虐待防止や感染症対策等に関する研修を実施し、職員間の情報共有と振り返りを通して支援の質の向上の継続的に取り組みます。		
主な行事等		季節に合わせた行事や製作 園外活動、避難訓練等							